

新出漢字

腕	藩	憎	鋭	唾	端	隣	闇	倒	削	黙	肝	慌	響	吹	侍
うで ワン	ハン	ソウ にくーむ にくーしみ にくーい にくーらしい	エイ すどーい	ダ つば	タン はし (は) はた	リン となーる となり	やみ	トウ たおーれる たおーす	サク けずーる	モク だーまる	カン きも	(コウ) あわーてる あわーただし	キョウ ひびーく	スイ ふーく	ジ さむらい
腕	藩	憎	鋭	唾	端	隣	闇	倒	削	黙	肝	慌	響	吹	侍
腕	藩	憎	鋭	唾	端	隣	闇	倒	削	黙	肝	慌	響	吹	侍
ノ	一	、	ノ	、	、	、	ノ	ノ	、	、	ノ	、	、	、	ノ
⑬ 腕 が鳴る	⑮ 藩 に仕えた医師	⑭ 憎 しみが消える	⑬ 鋭 い剣先	⑫ 生唾 を飲み込む	⑪ 道の端 を歩く	⑩ 席が隣 の人	⑨ 夕闇 が迫る	⑧ 本が倒 れる	⑦ 木を削 る	⑥ 泣く子も黙 る	⑤ 肝心 なことを忘れる	④ 忘れ物に慌 てる	③ 校内に演奏が響 く	② 北風が吹 く	① 尊王攘夷派の侍
()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
()	()	しみ	い	()	()	()	()	れる	る	る	()	てる	く	く	()

三回書いてみましょう。送り仮名を意識して読みを（ ）に書きましょう。

さんちき

その他の教科書に登場する漢字の読み

① 政治 と経済の話題	()	()	①7 探 し物が見つかる	()	()	①7 探 し
② 違反を取り締まる	()	()	①8 結局 仲直りした	()	()	()
③ 近頃 の流行り	()	()	①9 大変満足 する	()	()	()
④ 構 わず発言する	()	わず	②0 並 んで待つ	()	()	んで
⑤ 額に汗 がにじむ	()	()	②1 行き先を指 差す	()	()	す
⑥ 驚いて跳 び上がる	()	び	②2 水面が盛 り上がる	()	()	り
⑦ ろうそくの火を吹 き消す	()	き	②3 家に駆け 戻る	()	()	る
⑧ 晩飯 を平らげる	()	()	②4 誠に無念 である	()	()	()
⑨ 激 しい雨が降る	()	しい	②5 綿棒 の買い置き	()	()	()
⑩ 旗を振 る	()	る	②6 次第 にはっきりする	()	()	()
⑪ ゆらゆらと燃 える	()	える	②7 出発 間際のベル	()	()	()
⑫ 全 く気付かない	()	く	②8 昔の面影を 残す	()	()	す
⑬ すっきり間違 える	()	える	②9 余分 に準備する	()	()	()
⑭ 自分の順番 が来る	()	()	③0 大勢 の助っ人が集まる	()	()	()
⑮ 角が欠 ける	()	ける	③1 声の調子 を変える	()	()	()
⑯ 事態の裏側	()	()	③2 親方は腕 がいい	()	()	()

送り仮名を意識して読みを()に書きましょう。

さんちき

新出漢字とその他の教科書に登場する漢字の書き

送り仮名を正しく書き、漢字に直しましょう。

① 尊王攘夷派の <small>そんのうじょういは</small> さむらい ()	② 北風が <small>ふく</small> ()	③ 校内に演奏が <small>ひびく</small> ()	④ 忘れ物に <small>あわてる</small> ()	⑤ <small>な</small> かんじん <small>な</small> ことを忘れる ()	⑥ 泣く子も <small>だまる</small> ()	⑦ 木を <small>けずる</small> ()	⑧ 本が <small>たおれる</small> ()	⑨ タ <small>やみ</small> が <small>せま</small> 迫る ()	⑩ 席が <small>となり</small> の人 ()	⑪ 道の <small>はし</small> を歩く ()	⑫ <small>なまつば</small> を飲み込 ()	⑬ <small>するどい</small> 剣先 ()	⑭ <small>にくしみ</small> が消える ()	⑮ <small>はん</small> に仕えた医師 ()	⑯ <small>うで</small> が鳴る ()
⑰ <small>せいじ</small> と経済の話題 ()	⑱ 違反を取り <small>しまる</small> ()	⑲ <small>ちかごろ</small> の流行り ()	⑳ <small>かまわず</small> 発言する ()	㉑ 額に <small>あせ</small> がにじむ ()	㉒ 驚いて <small>とび</small> 上がる ()	㉓ ろうそくの火を <small>ふき</small> 消す ()	㉔ <small>ばんめし</small> を平らげる ()	㉕ <small>はげしい</small> 雨が降る ()	㉖ 旗を <small>ふる</small> ()	㉗ ゆらゆらと <small>もえる</small> ()	㉘ <small>まったく</small> 気が付かない ()	㉙ <small>すっきり</small> まちがえる ()	㉚ 自分の <small>じゅんばん</small> が来る ()	㉛ 角が <small>かける</small> ()	㉜ 事態の <small>うらがわ</small> ()

さんちき

教科書に登場する漢字の書きの続き

送り仮名を正しく書き、漢字に直しましょう。

① さがし物が見つかる ()	□ すいそうがくぶ ()
② けつきよく仲直りした ()	□ おんきよう設備 ()
③ 大変まんぞくする ()	□ きもにめいずる ()
④ ならんで待つ ()	□ 本のもくどく ()
⑤ 行き先をゆびさす ()	□ 経費をさくげんする ()
⑥ 水面がもり上がる ()	□ あっとう的に勝つ ()
⑦ 家に駆けもどる ()	□ りんせつする地域 ()
⑧ 誠にむねんである ()	□ きよくたんな例 ()
⑨ 綿ぼうの買い置き ()	□ だえきで検査する ()
⑩ しだいにはっきりする ()	□ えいりな刃物 ()
⑪ 出発まぎわのベル ()	□ 心にくい気配り ()
⑫ 昔の面影をのこす ()	□ さわん投手 ()
⑬ よぶんに準備する ()	□ かんぞうの機能 ()
⑭ おおぜいの助っ人が集まる ()	□ はっかん作用がある ()
⑮ 声のちようしを変える ()	□ ノートのはしに書く ()
⑯ 親方はうでがいい ()	□ みちばたの草 ()